

ケミカルマテリアルジャパン 2023



Japan Environmental Management  
Association for Industry

# JEMAIの素晴らしいサービス



JEMAI Chemical Management Division

一般社団法人産業環境管理協会

Copyright(C)2023 JEMAI All Rights Reserved



# JEMAIの各種事業

## JEMAIのミッション Mission

地球環境問題への対応に関する調査および研究、技術の指導等を通して、産業の健全な発展、ひいては国民生活の向上に寄与する事業を行います。



1. 環境管理に関する調査と研究
2. 環境管理に関する技術の指導
3. 公害防止管理者等国家試験・資格認定講習の実施
4. 環境管理に関する人材の育成
5. 環境管理に関する国際協力
6. 環境管理に関する知識の普及ならびに情報の収集・評価および提供

## JEMAIの事業紹介 Business Introduction

### 国家試験・資格認定講習

公害防止管理者制度

昭和62年度より「指定試験機関」として公害防止管理者等国家試験、および昭和47年度より「国からの受託事業」（平成17年度以降は「登録講習機関」）として公害防止管理者等資格認定講習を実施しています。

### 人材育成

国家試験対策講習会・各種研修/セミナー

昭和46年より開始した国家試験受験講習会に続き、平成5年より通信教育を実施しています。最近では、環境経営・環境保全全般および土壌汚染リスク、環境スキルアップ等の他、ニーズに応じた診断サービス、社内教育、出張講演なども行っています。また、企業等におけるISO14001 (EMS) の導入・維持・継続的改善・運用管理について支援を実施しています。

### 技術調査・研究

環境技術の研究開発

国、公益法人、企業等からの委託を受けて、環境技術および制度等に関する調査、研究、開発を行っています。また、JIS化や国際標準化を旨とした環境汚染物質等の測定法の調査、研究を行っています。

### 出版

「環境管理」・その他書籍発行

機関誌「環境管理」の発行、公害防止管理者関連書籍をはじめとする各種書籍の発行を行っています。

### 国際協力

専門家派遣・技術支援協力・国際標準化

公害防止管理者制度の構築のための専門家派遣、海外環境担当者対象の研修の実施などの技術支援を行っています。また、国際標準化対応事業として、ISO/TC146「大気の大気質」、TC147「水質」、TC207「環境マネジメント」、TC323「サーキュラーエコノミー」などに関する運営管理を行っています。

### 化学物質管理

調査・研究・人材育成・情報提供・国際規制対応支援・JAMP運営

欧州、北米、アジア（日本、中国、韓国、台湾）等の地域における化学品管理法令に係る最新情報の提供、人材育成、コンサルティング並びに法令手続支援を実施しています。また、化学物質管理体制の構築、労働安全管理等、事業所に必要となる各種支援を行っています。アーク（部品や成形品等の別称）が含有する化学物質等の情報を適切に管理し、サプライチェーンの中で円滑に開示・伝達するための具体的な仕組みを作り普及させることを目的に設立した有料会員制組織であるアークフルマネジメント推進協議会（JAMP）の事務局を担当し、その運営管理をしています。さらに行政・協会団体等と連携し、企業の化学物質管理レベルの向上に向けた実態調査、教材開発やセミナー等、企業の化学物質管理を総合的に支援しています。なお、JAMPは平成25年10月1日付で内部特別会計組織となりました。

### 資源循環・リサイクル

3R関連・表彰

CE（サーキュラーエコノミー）の実装に向けて、3R（リデュース・リユース・リサイクル）、資源循環等のデータ収集、小中学校へのESD支援、表彰、ならびにISO/TC207「環境マネジメント」、TC323「サーキュラーエコノミー」に係る審議団体事務局の運営を担っています。

### 産業と環境の会

研究会・委員会・フォーラムの運営

脱炭素、サーキュラーエコノミー、生物多様性（ネイチャーポジティブ）、汚染ゼロといった産業界の環境対策を支援しています。

### 海洋プラスチックごみ対策

CLOMA事務局運営

「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス」（CLOMA）は、地球規模の課題である海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、3Rの深化と代替素材の開発・導入を推進し、官民連携でプラスチック資源循環のイノベーションを加速するための活動を行っています。

### LCA日本フォーラム

情報交流・研究活動・事務局運営

ライフサイクルシンキングの普及を目的に、国内外を視野に入れたデータベースの整備をはじめ、LCA導入のための研修・セミナー等の普及活動を行っています。

# JEMAIの目次

## 事業別で探す

## 目的から探す

### 公害防止管理者

法律で特定の工場に公害防止管理者を配置する事が義務付けられています。

資格取得 国家試験・資格認定講習

合格証書・修了証書の再交付

育成支援 受験講習会

育成支援 通信教育

育成支援 リフレッシュ研修(再教育)

### 人材育成 / 企業支援 / 出版

環境人材の育成や社内体制の構築に繋がるサポートメニューを提供しています。

環境担当者向け廃棄物研修コース

化学物質管理・規制対応セミナー

出版物の購入・ご案内

環境サイトアセッサー

エネルギー・環境マネージャー

産業と環境の会センター

### 環境技術 / 標準化 / 国際協力

環境技術調査、ISO国際標準化規格の検討状況などを公開しています。

環境技術

環境規格 (ISO・JIS)

環境技術実証 (ETV) 事業

環境担当者向け情報 (JEMAI CLUB)

国際協力

### 資源循環 / 3R (資源・リサイクル)

3Rの普及活動、表彰などサプライチェーンを通じた資源循環の情報を公開しています。

資源・リサイクル促進センター

3R推進協議会

環境リサイクル学習

CLOMA  
グリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス

LCA日本フォーラム (JLCA)

### 化学物質管理

化学品の登録や製品の規制(RoHS / REACH等)への対応、また事業所の管理について、セミナーやコンサルティングで情報を提供します。

法規制最新情報

各種申請 (登録・登記・届出等)

製品中の化学物質管理

事業所の化学物質管理

化学物質管理・規制対応セミナー

JAMP(アークリクルマネジメント推進協議会)

JEMAI

で検索(一社)産業環境管理協会)

# JEMAIブース 提供コンテンツ

## 展示

- ① 国内外の化学物質規制2023
- ② SDSに関する最近の動向と対応
- ③ 労働安全衛生法改正とその対応2023
- ④ 情報伝達ツールchemSHERPAについて
- ⑤ JEMAIのサービス
- ⑥ 情報提供サービス：CATCHER

## 動画

- ⑦ 化学物質管理2023
- ⑧ 安衛法改正に対応したリスクアセスメントツール
- ⑨ 資源・リサイクル促進センターの活動
- ⑩ 人材育成・出版センター：サービスラインナップ

# 人材育成・出版センター

改正動向を  
分かりやすく解説

企業の習慣が違反  
になっていること  
も

環境省 JEMAI 一般社団法人 産業環境管理協会 人材育成・出版センター

2023年度 公害防止管理者等研修シリーズ

## 公害防止管理者等 リフレッシュ研修会 公害防止管理者等再教育研修

環境教育(人材育成)は  
環境管理の“礎”です

法規改正動向の把握  
規制法令の把握は、  
環境コンプライアンスの第一歩です

他社事例に学ぶ  
環境トラブルや環境管理の  
取組み事例から自社の改善ヒントを得る

### プログラム

● 最新 環境関連法規の改正動向  
● 最新 工場・事業場の環境管理とは  
● 最新 最新の環境TOPIC

本研修シリーズは、公害防止管理者等の環境管理担当者等の教育を目的に平成20年度より開始し、これまでに10,000名以上の方に受講いただいております。最新の環境関連法規の解説、他社事例等の紹介からその知識を学ぶほか、各種環境管理手法の紹介を通じて、企業の人材の育成をサポートいたします。(平成21~令和4年度環境管理関係の研修コースです。)

毎月1回 定期開催 2023年9月~2024年1月

開催日時/開催地

|                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| オンライン開催(ライブ配信)         | 9/27(水) 10/27(金)* 11/17(金) |
| 12/15(金)* 2024年1/19(金) |                            |
| 会場開催                   | 10/27(金) 大 阪 12/15(金) 東 京  |

※東京及び大阪会場はハイブリッド型セミナー(オンラインライブ配信+会場開催の併用)。

時間 10:00(開演)~16:45(終了予定) 受講料30分前払い受付開始

会場 現地開催における会場は、HP又は申込後にお届けします受講票にてご確認ください。

対象者 公害防止管理者、環境管理担当者、CSR担当など公害防止管理者の資格者でなくても受講できます。広く環境管理に携わる方の受講をお待ちしております。

受講料 (消費税10%含む) 注:オンライン開催は別途参加費がかかります。

一般:11,400円/当協会会員:11,000円  
 ※(一) 東京会場受講料のみ  
 ※(二) 一人様につき1名までの受講をお願いします(オンライン開催に限り)

https://www.e-jemai.jp/

環境省 JEMAI 一般社団法人 産業環境管理協会 人材育成・出版センター CPDの  
公害防止

2023年度 公害防止管理者等研修シリーズ

## 環境担当者向け 廃棄物研修コース

排出事業者  
対象

排出事業者の処理責任とは

廃棄物処理法第十二条第七項では、事業者は、産業廃棄物の最終処分が完了するまでの一連の処理が適正に行われるために必要な措置を講ずるよう努めなければならないこととされています。不適正な処理を行う廃棄物処理業者に委託していることが明らかになれば、排出事業者も廃棄物処理法の措置命令の対象になる可能性があります。また、社名等が登録され、コンプライアンスを十分に果たしていない事業者として社会的な評価を落としかねないリスクを十分に認識する必要があります。(環境省ホームページ「排出事業者の責任について」より)

毎月1回 定期開催 2023年9月~2024年1月

2コース開講 隔日開催  
1日で基礎(バージョンアップ)から最新情報(実務者編)まで学べます!

バージョンアップ 産業廃棄物の基本を基礎から学ぶ  
実務者編 最新の廃棄物処理法の動向把握に

開催日時/開催地

|                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| オンライン開催(ライブ配信)         | 9/14(水) 10/26(木)* 11/16(木) |
| 12/14(木)* 2024年1/18(木) |                            |
| 会場開催                   | 10/26(木) 大 阪 12/14(木) 東 京  |

※東京及び大阪会場はハイブリッド型セミナー(オンラインライブ配信+会場開催の併用)。

時間 バージョンアップ 全日AM10:00~12:30 受講料30分前払い受付開始  
実務者編 全日PM13:30~16:45

会場 現地開催における会場は、HP又は申込後にお届けします受講票にてご確認ください。

対象者/受講料 (消費税10%含む) 注:オンライン開催は別途参加費がかかります。

バージョンアップ 廃棄物管理担当者、公害防止管理者、総務など関連部署の方(初心者へ)  
一般:8,200円/当協会会員\*:6,800円

実務者編 廃棄物管理担当者、公害防止管理者(中~上級者)  
一般:13,200円/当協会会員\*:9,900円

※(一) 東京会場受講料のみ  
※(二) 一人様につき1名までの受講をお願いします(オンライン開催に限り)

講師 環境省環境研修センター(三山彰彦氏)長岡 文明  
環境省「PCB廃棄物の適正処理・早期処理の検討委員会」、「不用品回収に係る廃棄物処理法の判断基準検討委員会」委員などの委員も活躍する「産業アカデミー(環境省)」の講師など年間100回近い講演を行う廃棄物処理法の伝道師

本研修シリーズは、公害防止管理者等の環境管理担当者等の教育を目的に平成20年度より開始し、これまでに10,000名以上の方に受講いただいております。最新の環境関連法規の解説、他社事例等の紹介からその知識を学ぶほか、各種環境管理手法の紹介を通じて、企業の人材の育成をサポートいたします。(平成21~令和4年度環境管理関係の研修コースです。)

https://www.e-jemai.jp/

JEMAICLUBで

検索



# 人材育成・出版センター

エキスパートたちが  
丁寧に解説

2023  
年度

厳しさを増す国内外の規制に対応！

## 化学物質管理・安全セミナー

右記Webよりお申し込み下さい。▶ <https://www.e-jemai.jp/seminar/chemicals.html>



### 製品中の化学物質管理セミナー

製品含有化学物質とは？管理のためのポイントをわかりやすく解説！

|  |   |
|--|---|
| <p><b>管理の基礎</b></p> <p>製品中の化学物質を管理する基本的な考え方</p> <p>化学物質管理の基本となる「規制対応」「管理体制」「情報伝達」をテーマとした体系的な規制の基本知識、IT・ユーザーが求める体制と各種管理の伝達方法について、担当者が個々のポイントを講師の経験と最新の業界スタンスに合わせて解説します。</p> <p><b>受講対象</b> 初めて化学物質管理の担当になった方、取引先から管理体制について要求されている担当の方</p> <p><b>開催方式</b> ライブ配信</p> <p><b>開催日</b> 6月7日(水)・7月19日(水)・10月11日(水)</p> <p><b>受講料</b> 一般(税込):16,500円/会員(税込):13,200円</p> | <p><b>規制対応1</b></p> <p>1日丸ごと化学物質管理演習<br/>～EUの規制(REACH/RoHS/GLP)を中心に～</p> <p>世界の法規制についてもっと幅広く内容を知りたい方、経験者だが最新情報を調べるため参加から学びたいという方、自社で海外取引がある企業や規制物質の最新情報を確認したい企業の担当者にお勧めのコースです。</p> <p><b>受講対象</b> 法規制情報の収集や製品の管理をされている方</p> <p><b>開催方式</b> ライブ配信</p> <p><b>開催日</b> 6月14日(水)・11月8日(水)</p> <p><b>受講料</b> 一般(税込):35,200円/会員(税込):27,500円</p>                  |
| <p><b>規制対応2</b></p> <p>1日丸ごと化学物質管理演習<br/>～日米中等の規制(REACH系/RoHS系)を中心に～</p> <p>中国やアジアの規制(主にRoHS系/REACH系)を中心に規制を説明するとともに、EU以外の国や地域の動向や内容の違いも合わせて解説します。</p> <p><b>受講対象</b> 法規制情報の収集や製品の管理をされている方</p> <p><b>開催方式</b> ライブ配信</p> <p><b>開催日</b> 6月24日(水)・11月15日(水)</p> <p><b>受講料</b> 一般(税込):35,200円/会員(税込):27,500円</p>  | <p><b>規制対応3</b></p> <p>EU RoHSと中国RoHS管理規則の求める<br/>順法証明と技術文書の作り方</p> <p>RoHS指令が要求するCEマーキング、中国RoHS(II)管理規則の求める順法証明について技術文書の構成をわかりやすく解説します。</p> <p><b>受講対象</b> RoHS指令やCEマーキングの基礎を理解しており技術文書の作り方を習得したい方</p> <p><b>開催方式</b> ライブ配信</p> <p><b>開催日</b> 7月5日(水) ※今度のスケジュールには7月22日(水)開催</p> <p><b>受講料</b> 一般(税込):35,200円/会員(税込):27,500円</p>                         |
| <p><b>実践1</b></p> <p>製品含有化学物質<br/>伝達情報の作成ノウハウ</p> <p>製品含有化学物質の管理においては、情報を如何に顧客に送るかということが一つの重要な課題です。自社製品に含まれる化学物質について適切に情報を伝達するために準備すべきことや注意点を解説します。</p> <p><b>受講対象</b> 顧客や取引先と自社製品の化学物質情報をやりとりする担当の方</p> <p><b>開催方式</b> ライブ配信</p> <p><b>開催日</b> 9月20日(水)・10月18日(水)</p> <p><b>受講料</b> 一般(税込):16,500円/会員(税込):13,200円</p>   | <p><b>実践2</b></p> <p>製品含有化学物質<br/>chemSHERPAで情報伝達</p> <p>chemSHERPA-AIデータを自ら作成する方ももちろん、社内や取引先へ指導する方を対象としたセミナーです。本セミナーで利用した各種資料は、参加者へ電子媒体で提供します。(研修生限定、AI作成有償)</p> <p><b>受講対象</b> 実際に自分でchemSHERPAのデータを作成する方、社内で指導者に指導する方</p> <p><b>開催方式</b> 現地開催 [大阪・東京]</p> <p><b>開催日</b> [大阪]11月2日(水)・[東京]11月22日(水)</p> <p><b>受講料</b> 一般(税込):35,200円/会員(税込):27,500円</p> |

### 事業所における化学物質管理セミナー

最新の法規改正情報、化学物質のリスクアセスメント等最新の情報をキャッチアップ！

|  |   |
|--|---|
| <p><b>化学物質関連法令/初級</b></p> <p>法の読み方調べ方<br/>～事業所編・法の読み方と調べ方～</p> <p>当協会の機関誌「環境管理」の連載記事「環境法規改正情報」の筆者が責任者として、現場で法規制に次々生じる企業事業所化学物質関連法令の読み方と法的要事項の調べ方を解説します。</p> <p><b>受講対象</b> 製造業の環境管理部門新入者～2年目の方</p> <p><b>開催方式</b> ライブ配信</p> <p><b>開催日</b> 6月28日(水)</p> <p><b>受講料</b> 一般(税込):16,500円/会員(税込):13,200円</p> | <p><b>化学物質関連法令/中級</b></p> <p>法の読み方調べ方<br/>～事業所編・法規改正情報の調べ方と運用上の注意～</p> <p>最近の主な化学物質関連法規改正について法規改正の背景を基に、現場で運用する際の注意点を当協会のWeb情報「環境管理」法規改正情報「法規改正の動向」の筆者が解説します。</p> <p><b>受講対象</b> 製造業の環境管理部門中堅～新任課長クラス</p> <p><b>開催方式</b> ライブ配信</p> <p><b>開催日</b> 10月25日(水)</p> <p><b>受講料</b> 一般(税込):16,500円/会員(税込):13,200円</p>                                  |
| <p><b>規制対応</b></p> <p>事業所関連化学物質の<br/>リスク管理</p> <p>事業所が対応すべき法規制の概要を解説するとともに、過去の事例を紹介しつつ、事業所がどのように対応するのか、どうすれば避けられたのか、SDSの見方や管理体制の面から解説していきます。</p> <p><b>受講対象</b> 川中、川下企業で事業所の化学物質管理に携わっている実務者の方</p> <p><b>開催方式</b> ライブ配信</p> <p><b>開催日</b> 7月12日(水)</p> <p><b>受講料</b> 一般(税込):16,500円/会員(税込):13,200円</p> | <p><b>実践1</b></p> <p>担当者のためのSDS/GHSラベル作成の基礎<br/>～GHS分類・SDSの基礎、必要性～</p> <p>GHSに基づいたラベル、SDSに関する理解が不可欠になっています。このセミナーでは実務経験豊富な講師が、日本の例を中心に解説します。</p> <p><b>受講対象</b> これからSDSをどのように読みたい、作りたい、買いたい、取引先から入手・管理される方</p> <p><b>開催方式</b> ライブ配信</p> <p><b>開催日</b> 9月27日(水)</p> <p><b>受講料</b> 一般(税込):27,500円/会員(税込):18,150円</p>                              |
| <p><b>実践2</b></p> <p>担当者のためのSDS/GHSラベル作成の基礎<br/>～GHSによる危険有害性分類～</p> <p>GHS分類・ラベル・SDSの基礎、SDSの必要性、読み方、見方のポイントをわかりやすく説明します。</p> <p><b>受講対象</b> これからSDSをどのように読みたい、作りたい、買いたい、取引先から入手・管理される方</p> <p><b>開催方式</b> ライブ配信</p> <p><b>開催日</b> 10月4日(水)</p> <p><b>受講料</b> 一般(税込):27,500円/会員(税込):18,150円</p>         | <p><b>実践3</b></p> <p>世界の事故事例とリスクアセスメント手法<br/>(FTA・ETA)</p> <p>世界で実際に起きた事故事例から「リスクの働き」を学んでいただき、定量的リスクアセスメントの代表法である「FTAとETA」を習得していただきます。</p> <p><b>受講対象</b> 事故原因の分析や未然防止のためにFTAやETAの普及を促されている企業管理担当、設計担当、設備管理担当、生産管理担当、現場管理担当の方</p> <p><b>開催方式</b> ライブ配信</p> <p><b>開催日</b> 7月26日(水)・11月29日(水)</p> <p><b>受講料</b> 一般(税込):16,500円/会員(税込):13,200円</p> |



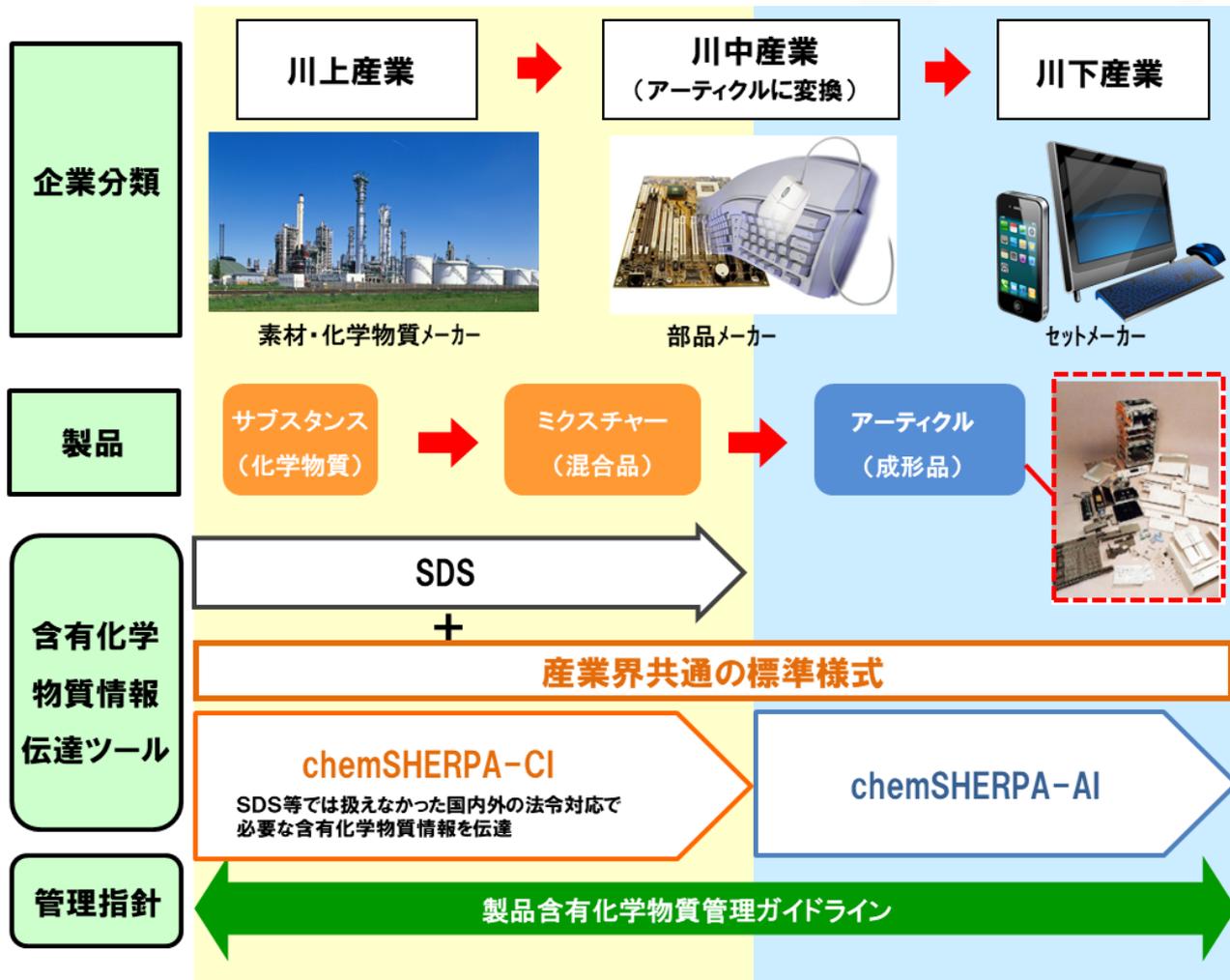
詳細はJEMAICLUBで！！ 検索 🔍

# ア－ティクルマネジメント推進協議会

JAMP (Joint Article Management Promotion-consortium)



会員数：507 (2023年9月)、 chemSHERPAダウンロード数：8万 (2022年度)



## JAMPのミッション

サプライチェーンにおける製品含有化学物質の適切な管理及び円滑な情報開示を促進し、もって産業界の国際的な競争力確保に寄与する

## JAMPが提唱する情報伝達の仕組み

製品含有化学物質情報(管理対象物質)を伝達するため、共通の産業界標準書式を使用

⇒川上からのサブスタンス・ミクチャー情報を基に、ア－ティクルを中心とした含有化学物質情報を適正に管理及び提供(開示)

# LCA日本フォーラム (JLCA)

我が国におけるライフサイクルアセスメント(LCA)に係わる産業界、学界、国公立研究機関の関係者が集うプラットフォームです



## ◆ JLCAの活動

### 1. LCAや環境効率に関する調査・研究活動

<現在開催中の研究会> LIME3活用検討研究会・SDGsとICT研究会

プラスチックのリサイクルを考える研究会・GHG排出量算定研究会

### 2. LCA関連の講演会・セミナー（年3～4回開催）

### 3. LCA表彰を毎年開催（毎年2月に授与式）**現在ご応募受付中！**

### 4. ホームページでの会員への情報提供及び交流活動の推進

### 5. LCA研修事業(年4回開催)

### 6. 海外関係機関との交流活動と国際標準化への貢献活動

### 7. LCAデータベースの維持管理運営



入会のお申し込み・お問い合わせは  
一般社団法人産業環境管理協会 内 LCA日本フォーラム事務局 まで  
TEL : 03-6694-5381 e-Mail : [lca-project@jemai.or.jp](mailto:lca-project@jemai.or.jp)  
URL : <https://lca-forum.org/>



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です



●CLOMAの活動は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された『持続可能な開発目標（SDGs）』の目標の達成にも貢献しています。

## 海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて － 企業連携が生み出す新たなイノベーション －

クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（略称：CLOMA）は、地球規模の新たな課題である海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、プラスチック製品の持続可能な使用や代替素材の開発・導入を推進し、官民連携でイノベーションを加速化するために設立された団体です。

日本がこれまで築いてきたプラスチックの3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組みを一層深化させることで、環境負荷の低いプラスチック製品の製造・利用を進めるとともに、他の素材による代替も促進していきます。

CLOMAには、さまざまな業界から多数の企業・団体が参画しています。

設立：2019年1月18日

会長：澤田 道隆（花王株式会社 取締役会長）

役員：普及促進部会長 森島 千佳（味の素株式会社 執行役常務）

技術部会長

八島 英彦（三菱ケミカル株式会社 シニアコンサルタント）

国際連携部会長 藤原 正明（サントリーホールディングス株式会社 常務執行役員

サステナビリティ経営推進本部長）

監事 岡野 知道（ライオン株式会社 執行役員 全社環境戦略担当）

幹事〔31社・団体〕（法人名略）：

味の素、アマタ、イオン、ヴェオリア・ジェネッツ、SAPジャパン、エフピコ、王子ホールディングス、花王、カネカ、共栄社化学、ザ・パック、サラヤ、サントリーホールディングス、住友化学、セブン&アイ・ホールディングス、全日本印刷工業組合連合会、大日本印刷、帝人フロンティア、東洋製罐グループホールディングス、凸版印刷、豊田通商、日清食品ホールディングス、ニッポン、日本製紙、日本エヌ・ユー・エス、日本パレットレンタル、福助工業、三井物産、三菱ケミカル、ライオン、レンゴー

会員数：505社・団体（2023年9月29日現在）

年会費：正会員（一般会員 10万円、幹事会員 25万円）

事務局：CLOMA事務局（一般社団法人産業環境管理協会内）

E-mail: [cloma@jemai.or.jp](mailto:cloma@jemai.or.jp) TEL: 03-3528-8161（代表）

入会のご案内: <https://cloma.net/guide/>

ぜひご入会をご検討ください！

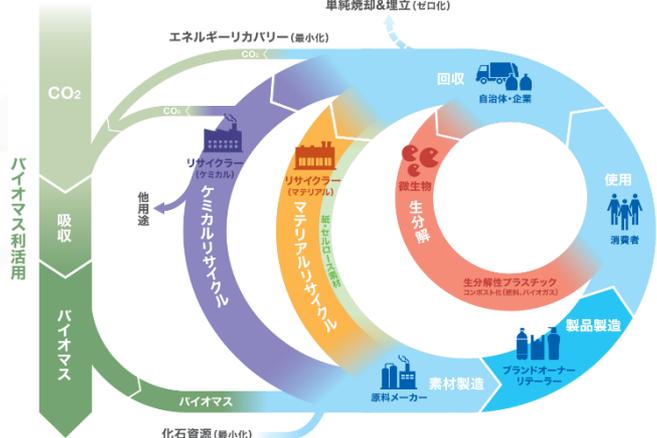
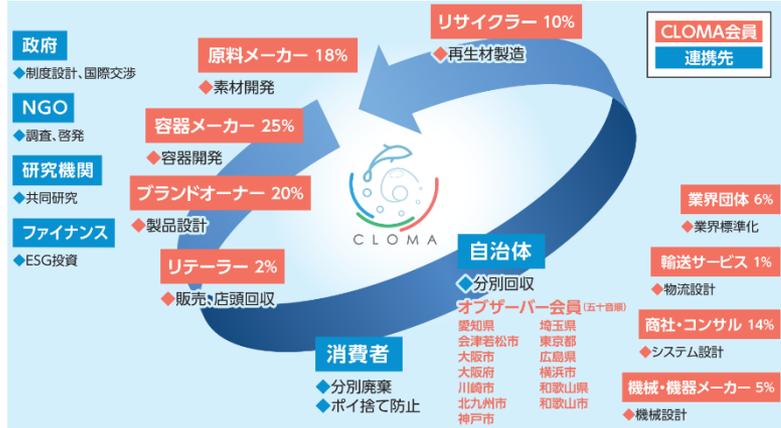


URL

<https://cloma.net/memberlist/>



# サプライチェーンの総合力で取り組む



## 会員になると・・・ さまざまなサービスをご利用いただけます。

### ● 会員ページトップ

- HOME
- CLOMAについて
- CLOMAの活動
- 会員・オブザーバー
- FAQ
- 入会のご案内
- 関連リンク
- 会員専用メニュー

- 会員ページトップ
- 總會・幹事会報告
- 3部会等活動状況
- Key action実行WG活動状況
- マッチングプラットフォーム
- 3部会・Key action実行WG申込み
- 海外のプラスチック関連情報
- 公認情報

### 新着情報

- 2023-09-14** 2023-09-14 2023年9月度 CLOMA定期報告
- 2023-09-08** 【普及促進部会・技術部会共同開催】CLOMA会員間のアライアンス拡大のための技術交流会 参加(視聴)募集のお知らせ
- 2023-08-28** 株式会社イチチネン製作所のSEEDS SHEET (No.339) を新規登録しました
- 2023-08-20** ライオン株式会社のNEEDS SHEET (No.59, 60, 61) を更新登録しました
- 2023-08-16** CLOMA海外プラスチック動向ヘッドライン情報定期便(第2号 2023年8月)

新着情報一覧をみる ▶

### CLOMA通信

- CLOMA通信2023/9/25号
- CLOMA通信2023/9/19号
- CLOMA通信2023/9/11号
- CLOMA通信2023/9/4号
- CLOMA通信2023/8/28号

CLOMA通信一覧をみる ▶

シーズ  
シート

**CLOMA Matching Platform <SEEDS SHEET>**

| タイトル   |                  | 分類                               |
|--|------------------|----------------------------------|
| <b>花王が考えるプラスチック容器の循環</b>   |                  | シーズの評価段階                         |
| 企業名・部署・担当者   | 連絡先 (TEL・E-mail) | 研究開発段階                           |
| 花王株式会社   | *****            | 3R分類                             |
| 提供可能な機能・特徴・用途例   |                  | リデュース<br>リサイクル                   |
|  |                  | 活用ステータス                          |
|  |                  | 製品生産段階<br>消費段階<br>消費後廃棄段階<br>その他 |
|  |                  | シーズの種類                           |
|  |                  | 素材提供<br>技術提供<br>システム提供           |

● セミナーやビジネスマッチングイベントの開催

セミナー情報

- 2023-09-08 【普及促進部会・技術部会共同開催】CLOMA会員間のアライアンス拡大のための技術交流会 参加（視聴）募集のお知らせ
- 2023-06-30 技術部会主催意見交換会2023年7月26日開催 次世代放射光施設 NanoTerasuの紹介
- 2023-03-31 2022年度 第3回「ビジネスソリューション提案会」アーカイブ
- 2023-03-07 2022年度 第3回「ビジネスソリューション提案会」参加者（視聴者）募集のお知らせ
- 2023-02-17 2022年度 第3回「ビジネスソリューション提案会」発表者募集のお知らせ



セミナー情報一覧をみる ▶



当促進センター\*は、資源のムダの発生抑制、再利用、再生利用の推進により資源の効率的な利用・循環を促進し、脱炭素、環境の保全、経済の振興にも寄与しつつ、持続可能な社会を実現することを目的として活動しています。

\*2012年4月に旧財団法人クリーン・ジャパン・センターの事業を引き継いで発足

## ○ 表彰関連事業

資源循環技術・システム表彰、リサイクル技術開発本多賞、3R推進功労者等表彰  
(事務局運営)

## ○ 環境学習支援事業

小中高校生向け環境リサイクル学習ホームページをメインとする環境学習を支援する情報発信、コンテンツ開発、イベントの企画・運営など

## ○ 普及促進事業

3R先進事例発表会、レアメタルリサイクル促進事業(事例調査、事業者、消費者等への情報提供等)

## ○ 動向調査・情報提供

リサイクルデータブック作成(統計データ、法制度、施策、海外情報等の情報を取集・整理して公開)

## ○ 国際標準化事業(国内審議団体事務局)

ISO/TC207(環境マネジメント)規格、ISO/TC323(サーキュラーエコノミー)規格



※ 略称:3R推進協議会

## リデュース・リユース・リサイクル推進協議会（事務局運営）

3R・資源循環の活動を推進し、持続可能な循環型社会の構築を目指すため、消費者・産業界などの団体や行政等が連携して、様々な活動を展開中です。（一社）産業環境管理協会は、当協議会の会員であり、また、事務局を担っています。

### 3R推進功労者等表彰の実施

3Rの顕著な実績を挙げた個人、グループ、事業所等を毎年、表彰しています。



表彰式の様子

### 3Rキャンペーンマークの利用推進

3R活動のシンボルとして団体、地方自治体、企業等の3R活動に使っていただき、3Rへの参加と協力を呼びかけています。



### 3R推進ポスターの製作

アイキャッチな啓発ポスターを毎年製作して、オフィスや公共機関等において、3Rの推進を呼びかけています。



2022年度3R推進ポスター

### セミナーの開催

行政や業界などの3Rの最新動向・施策等を情報共有する場として、会員団体その会員企業等に向けたセミナー等を開催しています。



セミナーの様子

協議会ホームページでは、表彰で受賞した取り組みやセミナーの資料を公開しています。

[www.3r-suishinkyogikai.jp/](http://www.3r-suishinkyogikai.jp/)

# 化学物質総合管理部門の型録



## 規制情報 迅速×網羅

1. **【速報！メール通知サービス】**：国内外の化学物質管理規制をほぼリアルタイムでキャッチし、規制の中身を含めて日本語化して1週間以内に情報提供します。
2. **【お悩みメール相談】**：御社の化学物質管理に関する様々な悩みや課題に対してメールでお答えします。
3. **【管理体制の健康診断】**：エンドユーザー側の視点から化学物質管理体制をチェックします。



Jemai, CATCHER

## 規制対応 全面的に支援

1. **【化学物質登録/登記/届出】**：国内外の化学物質管理規制で要求される化学物質の登録および登記を支援します。  
(REACH規則、バイオサイド規則、中国新化学物質環境管理法、韓国化評法、台湾新化学物質および既存化学物質資料登録法、TSCA等)
2. **【SDS作成】**：GHSに基づいた各国向けのSDSおよびラベル作成を、専門家がきめ細かく、丁寧に支援します。
3. **【事業所の化学物質管理】**：国内法規制（毒劇法、消防法、PRTR、労働安全衛生法、及び公害防止に係る規制等）に基づいた、事業所における適切な化学物質管理を支援します。

Jemai, 登録

## 講演・セミナー

### まずは基礎。そして実践。

講師はその道の専門家。対象は担当から管理職まで。最新の化学物質管理のノウハウを提供します。

- 製品中の化学物質管理  
【基礎】
  - ・製品中の化学物質を管理する基本的な考え方
 【実践】
  - ・一日丸ごと化学物質管理漬け（主要国の法規）
  - ・評価する側から見た化学物質管理のポイント
  - ・製品含有化学物質：伝達情報作成のノウハウ
- 事業所の化学物質管理  
【基礎】
  - ・これからの事業所関連化学物質管理
 【実践】
  - ・担当者のためのSDS/GHSラベル作成道場
  - ・作業者に説明しやすいリスクアセスメント

Jemai, セミナー

オンラインセミナーも

## 調査・研究

### 公益性×専門性

網羅的な内容でも特異的な内容でもご相談ください。忙しい貴社に代わってJEMAIの専門家が対応します。

- 政策に係る調査・研究
  - ・chemSHERPA®等情報伝達の動向調査
  - ・新たな排水管理手法の動向調査
  - ・SDS/GHSラベル普及促進・動向調査
  - ・化学物質に対する試験法の最新動向調査
- 産業界に役立つ調査・研究
  - ・諸外国の化学物質管理に関する規制動向調査
  - ・業界基準等に関する規制動向調査
  - ・自主的取組みに対する状況把握と支援
- 将来のための調査・研究

貴社のご要望を承ります。お気軽にご相談ください。  
chemicals@jemai.or.jp

## 企業支援

### 社内、取引先、顧客対応を専門家が支援します。

製品含有規制や事業所での環境管理について基礎から応用まで、電機会社や化学品製造企業で、基準の作成や、取引先の評価やトラブルシュートなどに従事していたプロフェッショナルがクライアント企業様に入り込んで一緒に課題を解決していきます。

頻度や期間、実施方法は企業の希望や課題に合わせてご提案いたします。



### Menu

- ・社内人材教育
- ・リスク管理
- ・管理体制の構築
- ・社内基準の作成

## CATCHERのサービス

- **製品含有**化学物質の規制動向に関する、「**日本一の速報**」を目指しているサービスです。
- **国内外**の製品含有化学物質管理規制の動向を、官報などの発行に基づき**2-3営業日以内**に情報提供致します。
- **英語圏**の法規制**草案及び公報**は、**全文和訳**で提供致します。

[CATCHERの詳細はこちらから](#)

# 一般社団法人産業環境管理協会は



国の行政機関、各種団体、企業等の会員を基盤として成り立つ公益法人です。

昭和37年に発足して以来、産業活動に係る公害防止をはじめ、地球環境問題への対応に関する調査および研究、技術の普及等を行うことにより産業の健全な発展を図り、もって国民生活の向上に寄与することを目的として各種の事業を行っております。

何卒会員としてご支援賜りますようお願い申し上げます。

会長 助野 健児